

寒の戻りに注意

急激な気温の低下・・・健康被害  
霜被害・・・4℃以下で霜の恐れ

黄砂の季節

花粉の多い日

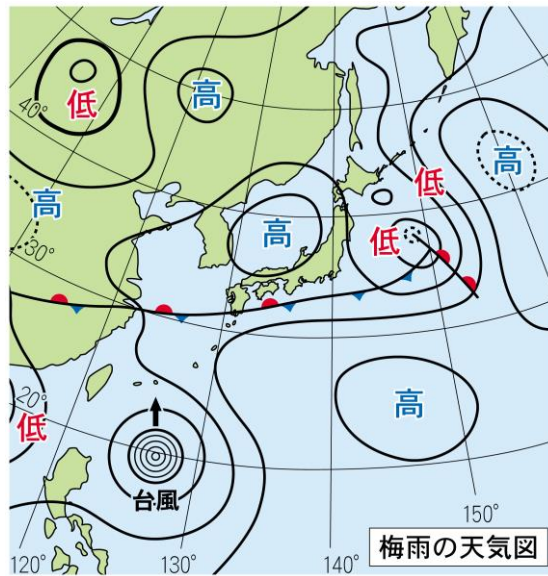
1. 晴天 2. 気温上昇 3. 風が強い

春一番・・・海や山での事故に注意

雹(ヒョウ)の季節

## 日本最大のヒョウ

- 大正6年6月29日
- 埼玉県熊谷市妻沼
- 直径・・・29cm 重さ・・・3.4Kg



## 大気組成

窒素……………78パーセント

酸素……………21パーセント

アルゴン……………0.9パーセント

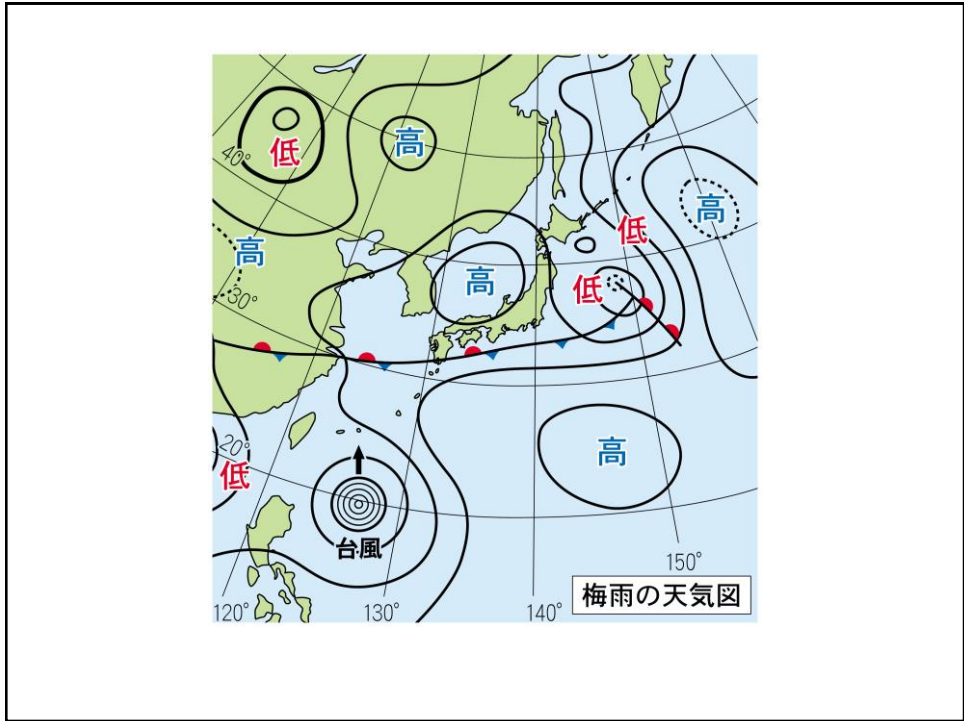
二酸化炭素…0.03パーセント など

## 質量について

窒素分子(N<sub>2</sub>) …… 28g/mol

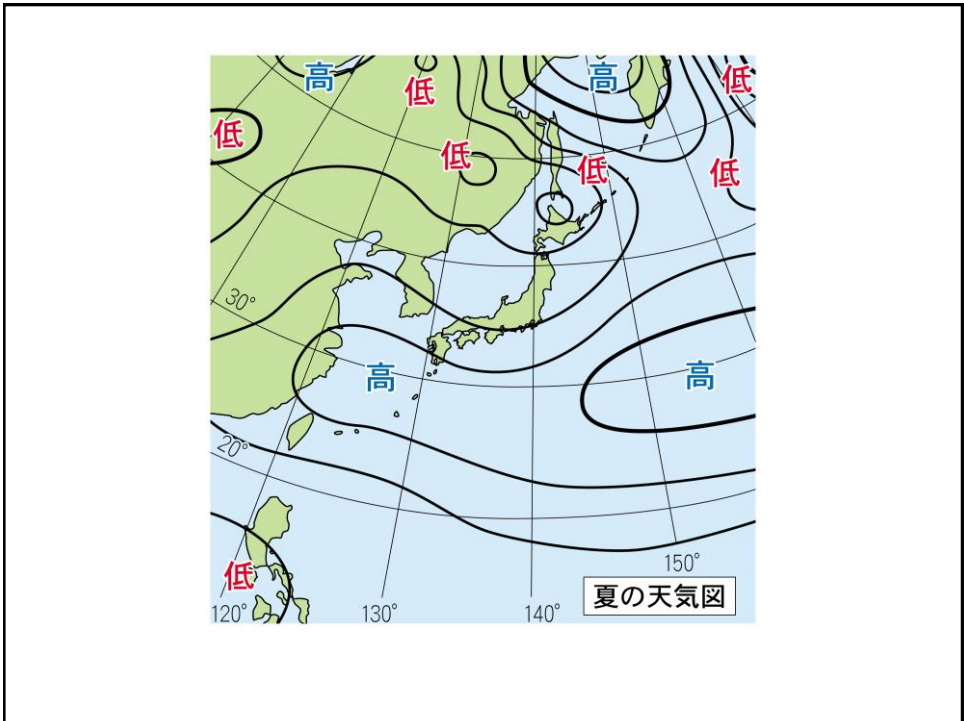
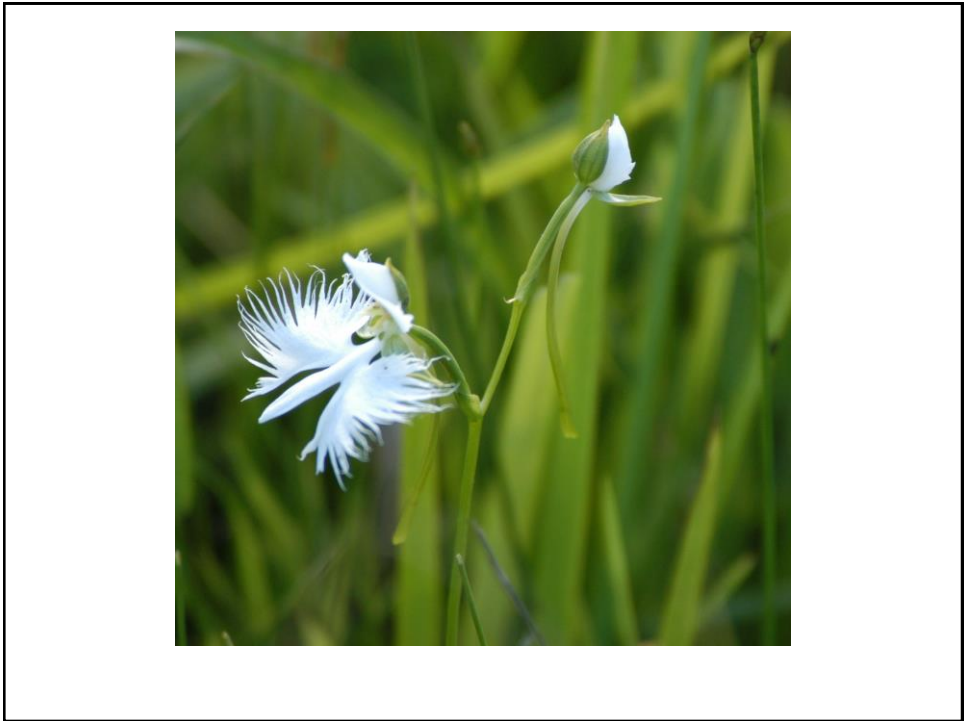
酸素分子(O<sub>2</sub>) …… 32g/mol

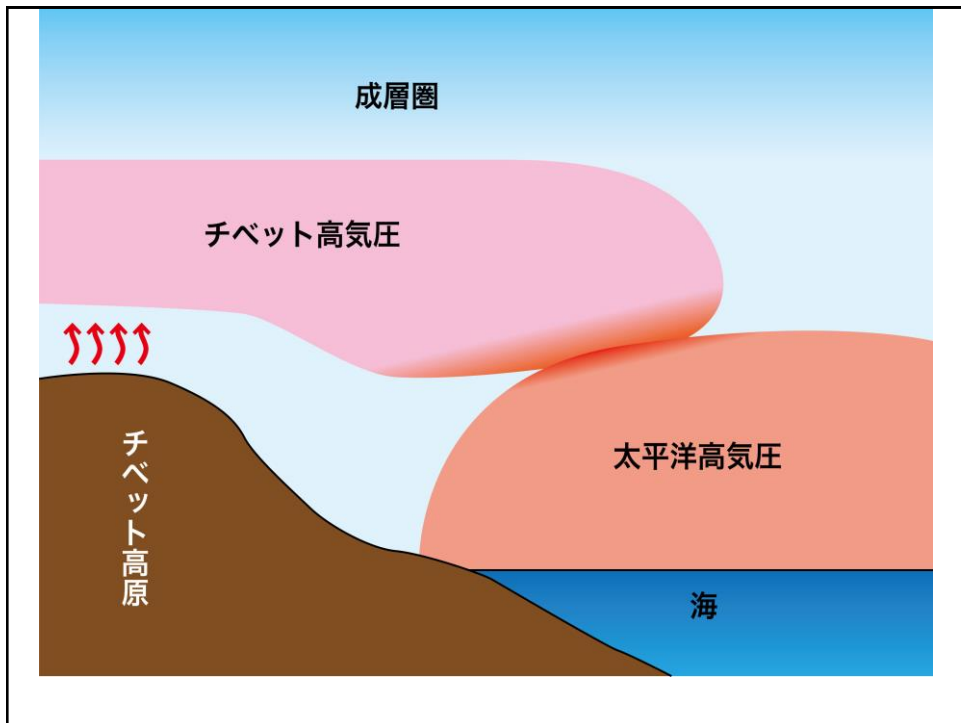
水蒸気(H<sub>2</sub>O) …… 18g/mol



## 危険な雨の降り方

1. 強い雨が連続して降る
2. 連続的な雨に激しい雨が混じる
3. 局地的に激しい雨が降る





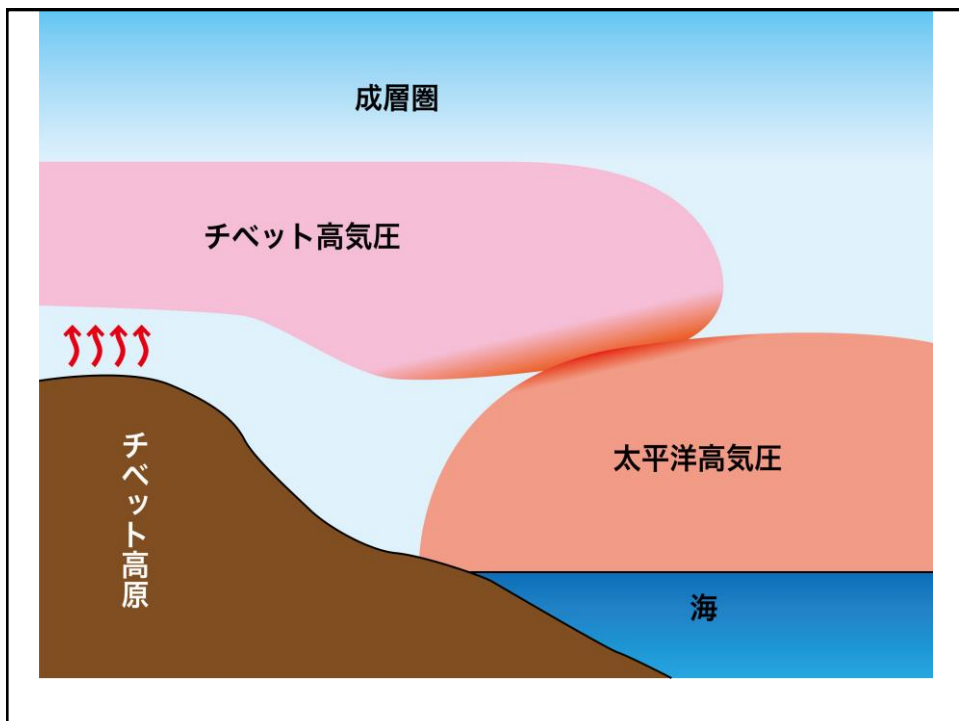
航空機の客室内は  
暖房か 冷房か？



航空機の客室内は

暖房か 冷房か？

答 冷 房



# 日本の最高気温

41.1°C

平成30年7月23日 埼玉県熊谷市

令和 2年8月17日 静岡県浜松市

## 夏は熱中症に注意

- 対策
  1. こまめな水分補給
  2. 直射日光を避ける
  3. 食事と睡眠
- 気分が悪くなったら
  1. 早めの休息
  2. 体を冷やす
  3. 早めの救助要請



## 雷から身を守る

- 雷鳴が聞こえたら早めの避難
- 家の中では部屋の中央が安全
- 車の中も安全
- 木の幹から1.5～2m離れる

## 竜巻にも注意

竜巻は巨大積乱雲の下で発生  
真っ黒い雲や漏斗状の雲を  
見たら竜巻に注意

### 避難方法

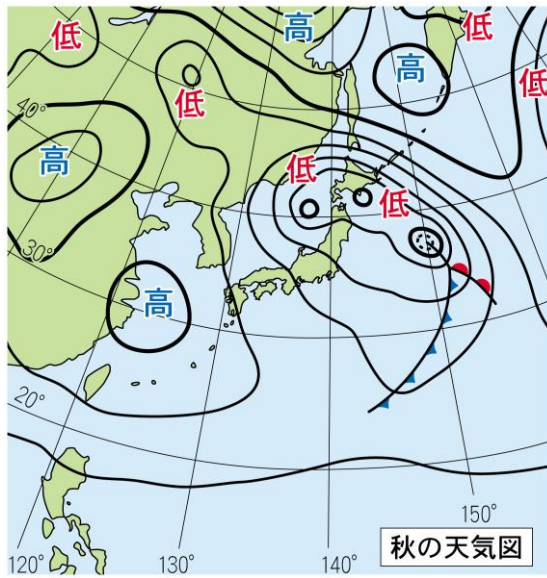
1. 丈夫な家の中に避難
2. 車で走行中・・・離れるように走行

## 台風が接近しやすい季節

近づく前に、飛びやすい物を固定したり  
家の中へ取り込んでおく。

接近したら、出来るだけ外に出ない。  
ただし、危険を感じたら早めの避難を！

通過後も、川や水田の見回りは注意。



## 秋は気温の低下に注意

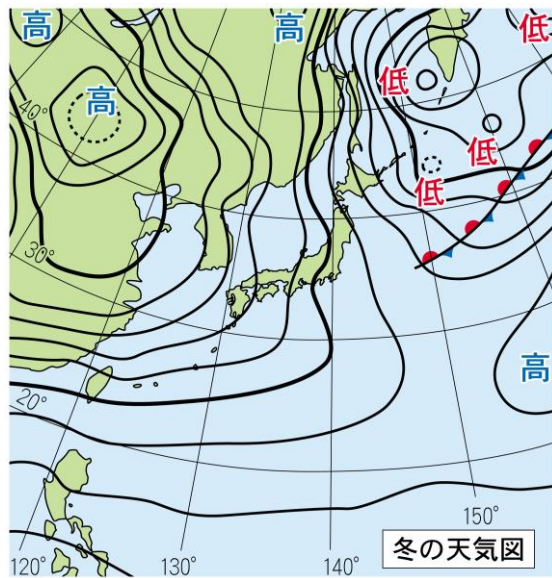
気温が階段状に低下  
日中と夜間の温度差大  
体調を崩しやすい  
風邪を引きやすい

高齢者は健康上の事故に注意  
(夏バテ + 気温の急激な変動)

## 大型台風の季節

秋の台風はスピードが速い。

台風情報を確認して、危険を  
感じたら、迷わず自主避難を！



世界の豪雪地はどこ？

世界の豪雪地帯はどこ？

答……日本の日本海側



## 空気1m<sup>3</sup>中の最大量

30°C……約30グラム

0°C……約 5グラム

-20°C……約 1グラム

大陸の乾燥寒冷な空気が、海上で  
熱と水蒸気を補給される。

日本海側には湿った空気が流入。

脊梁山脈にぶつかって多量の雪。

## 冬型の気圧配置による雪

山間部が中心・・・山雪型

長時間ときには数日続く

路面の凍結 スリップ事故多発

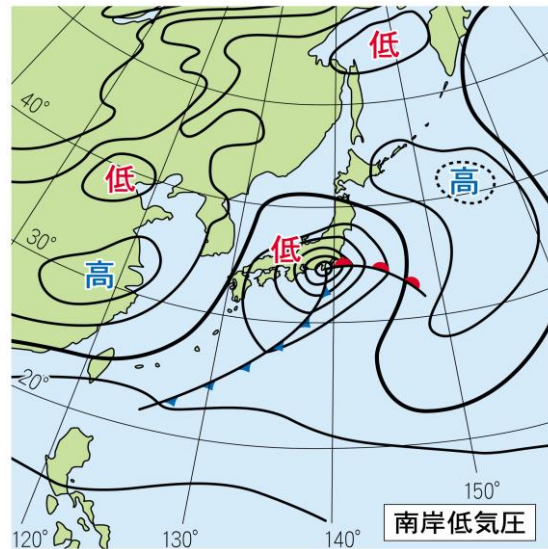
水道管の凍結や破裂

## 冬は家の内が危険

家庭内不慮の事故多発  
65歳以上に集中 最多は12月

居間からトイレ 布団からトイレ  
対策は上着

風呂場  
対策は風呂の蓋を取っておく



## 南岸低気圧による雪

太平洋沿岸部で大雪…里雪型

どか雪 重い くっつきやすい

2月に集中

歴史的な大事件に関わったことが多い

# 積雪の記録

(徳島市)

42 センチメートル

1907(明治40)年2月11日

